

58	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	2.88	1.04
59	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	1.59	0.56
60	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	1.70	0.59
61	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか 学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む	1.84	0.66
62	平成 27 年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	1.99	0.62
63	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	1.90	0.72
64	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	3.68	1.62
65	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	3.90	1.52
66	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	3.40	1.64
67	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	2.02	0.66
68	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	2.24	0.67
69	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	1.91	0.61
70	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度まで	1.64	0.58

	に、書く習慣を付ける授業を行いましたか		
71	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	1.83	0.61
72	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	1.41	0.53
73	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	1.77	0.64
74	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	2.15	0.69
75	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	2.21	0.64
76	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	1.48	0.57
77	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫 板書や説明の仕方、教材の工夫など を行いましたか	1.80	0.72
78	前年度までに、近隣等の小学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか	2.28	1.01
79	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	2.08	0.99
80	前年度までに、近隣等の小学校と、意見を交換し合うなど、教員同士の交流を行いましたか	1.84	0.85
81	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	2.41	0.94
82	平成 27 年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか	2.46	0.97
83	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	2.26	0.91
84	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート 補助 を行いましたか	3.03	1.02
85	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、	3.10	0.80

図書館を利用した授業を行いましたか

86	職場見学や職場体験活動を行っていますか	1.03	0.17
87	PTA や地域の人が学校の諸活動 学校の美化など にボランティアとして参加してくれますか	1.50	0.61
88	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	2.16	1.09
89	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	1.70	0.73
90	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題 宿題 を与えましたか	1.53	0.64
91	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	1.53	0.61
92	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	1.48	0.60
93	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	1.51	0.60
94	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか 国語	1.77	0.68
95	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか 国語	1.85	0.72
96	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか 国語	2.15	0.69
97	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか 国語	1.82	0.64
98	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、予習・復習や宿題をさせる際に、教科書の活用 自宅等で教科書を読むなどを 含む を促しましたか 国語	1.83	0.64

99	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	1.43	0.56
100	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	1.69	0.75
101	都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか	2.23	0.97
102	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	1.80	0.73
103	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	1.65	0.62
104	教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	1.97	0.73
105	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	2.22	0.77
106	コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか	2.59	0.77
107	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	5.00	2.24
108	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	1.80	0.57
109	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	1.72	0.58
110	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	1.94	0.68
111	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	1.80	0.65
112	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	1.46	0.54
113	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	1.55	0.57
114	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	1.76	0.77

### 2.2.2. 各教科との相関係数

No	項目	国語	国語	数学	数学
		A	B	A	B
1	調査対象日現在の学校の全学年の生徒数	.060	.027	.103	.109
2	調査対象日現在の第3学年の生徒数 特別支援学級の生徒数を除く	.060	.029	.101	.107
3	平成27年5月1日現在の第2学年の生徒数 特別支援学級の生徒数を除く	.065	.034	.106	.111
4	調査対象日現在の学校の全学年の学級数 特別支援学級を除く	.033	.018	.082	.089
5	調査対象日現在の第3学年の学級数 特別支援学級を除く	.014	-.002	.064	.067
6	平成27年5月1日現在の第2学年の学級数 特別支援学級を除く	.024	.002	.067	.069
7	平成27年度の第2学年の国語の総授業時数	.024	.016	.016	.019
8	平成27年度の第2学年の数学の総授業時数	.063	.059	.061	.064
9	調査対象日現在の学校の全教員数 副校長・教頭・主幹 教諭・指導教諭・教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師 など	-.056	-.070	.003	.015
10	教員の教職経験年数別人数 5年未満	-.100	-.103	-.047	-.044
11	教員の教職経験年数別人数 5年以上10年未満	-.060	-.057	.009	.016
12	教員の教職経験年数別人数 10年以上20年未満	-.012	-.008	.035	.057
13	教員の教職経験年数別人数 20年以上	-.034	-.045	-.012	-.001
14	調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	-.293	-.313	-.339	-.347
15	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	-.278	-.287	-.298	-.296
16	調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	-.239	-.248	-.254	-.247
17	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	-.258	-.279	-.290	-.300

18	調査対象学年の生徒は, 学級やグループでの話し合いなどの活動で, 相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	-.254	-.274	-.274	-.274
19	調査対象学年の生徒は, 学級やグループでの話し合いなどの活動で, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていると思いますか	-.281	-.299	-.312	-.323
20	調査対象学年の生徒は, 自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか	-.296	-.312	-.324	-.328
21	調査対象学年の生徒は, 授業において, 自らの考えがうまく伝わるよう, 資料や文章, 話の組立てなどを工夫して, 発言や発表を行うことができていると思いますか	-.314	-.335	-.353	-.362
22	調査対象学年の生徒のうち, 就学援助を受けている生徒の割合	-.262	-.277	-.259	-.263
23	調査対象学年の生徒のうち, 日本語指導が必要な生徒の人数	-.092	-.071	-.054	-.045
24	調査対象学年の生徒に対して, 前年度に, 図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか	-.049	-.068	-.044	-.049
25	調査対象学年の生徒に対して, 前年度に, 放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	-.052	-.045	-.060	-.043
26	調査対象学年の生徒に対して, 前年度に, 土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	-.057	-.067	-.082	-.078
27	調査対象学年の生徒に対して, 前年度に, 長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか 実施した日数の累計	-.058	-.053	-.064	-.051
28	指導計画について, 知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか	-.112	-.121	-.132	-.142
29	指導計画について, 言語活動に重点を置いて作成していますか	-.112	-.128	-.117	-.135
30	指導計画の作成に当たっては, 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え, 学校の教育目標を踏	-.067	-.074	-.080	-.090

	まえた横断的な視点で, その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか				
31	教育課程表 全体計画や年間指導計画等 について, 各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	-.049	-.058	-.059	-.066
32	教育課程表 全体計画や年間指導計画等 について, 指導事項の系統性が分かるように作成していますか	-.077	-.082	-.084	-.091
33	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき, 教育課程を編成し, 実施し, 評価して改善を図る一連の PDCA サイクルを確立していますか	-.075	-.075	-.065	-.071
34	指導計画の作成に当たっては, 教育内容と, 教育活動に必要な人的・物的資源等を, 地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	-.084	-.096	-.074	-.085
35	調査対象学年の生徒に対して, 前年度までに, 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	-.122	-.145	-.143	-.157
36	調査対象学年の生徒に対して, 前年度までに, 授業の中で目標 めあて・ねらい を示す活動を計画的に取り入れましたか	-.052	-.061	-.021	-.032
37	調査対象学年の生徒に対して, 前年度までに, 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	-.059	-.074	-.048	-.058
38	調査対象学年の生徒に対して, 前年度までに, 各教科等の指導のねらいを明確にした上で, 言語活動を適切に位置付けましたか	-.123	-.140	-.123	-.140
39	調査対象学年の生徒に対して, 前年度までに, 様々な考えを引き出したり, 思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	-.149	-.167	-.158	-.179
40	調査対象学年の生徒に対して, 前年度までに, 発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	-.124	-.151	-.133	-.150
41	調査対象学年の生徒に対して, 前年度までに,	-.058	-.061	-.027	-.031

42	授業で扱うノートに、学習の目標 めあて・ねらい とまとめを書くように指導しましたか 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	-.174	-.187	-.170	-.181
43	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	-.148	-.161	-.147	-.156
44	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	-.164	-.177	-.174	-.191
45	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	-.130	-.150	-.132	-.142
46	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	-.186	-.204	-.183	-.196
47	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	-.176	-.198	-.171	-.191
48	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	-.070	-.073	-.065	-.075
49	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	-.113	-.117	-.121	-.126
50	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、道徳の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか	-.117	-.126	-.120	-.126
51	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律 私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど の維持を徹底し	-.127	-.140	-.145	-.144

ましたか

52	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	-.086	-.103	-.084	-.091
53	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人ひとりのよい点や可能性を見付け、生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか	-.046	-.067	-.044	-.056
54	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語や数学において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組ませることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行いましたか	-.134	-.152	-.121	-.144
55	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語や数学において、一人ひとりの学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、生徒の資質・能力がどのように伸びているかを、生徒自身が把握できるような評価を行いましたか	-.085	-.102	-.085	-.105
56	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習協働学習や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか。	-.098	-.111	-.103	-.111
57	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	-.018	-.041	-.032	-.039

	したか				
58	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	-.037	-.051	-.051	-.052
59	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	-.086	-.075	-.076	-.063
60	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	-.066	-.057	-.060	-.051
61	平成 27 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか 学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む	-.067	-.052	-.069	-.062
62	平成 27 年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	-.055	-.044	-.045	-.041
63	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	-.035	-.018	-.016	-.007
64	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	.081	.051	.050	.052

65	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	.041	.020	.012	.014
66	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	.070	.073	.091	.094
67	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	-.001	-.009	.007	.008
68	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-.198	-.210	-.201	-.214
69	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	-.116	-.139	-.115	-.140
70	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	-.110	-.112	-.100	-.109
71	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	-.125	-.128	-.136	-.147
72	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	-.029	-.029	-.030	-.030
73	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	-.019	-.032	-.028	-.016
74	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-.231	-.234	-.269	-.276
75	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-.073	-.088	-.088	-.108
76	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習を	.021	.020	.012	.027

	する授業を行いましたか				
77	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫 板書や説明の仕方、教材の工夫などを行いましたか	.155	.136	.137	.136
78	前年度までに、近隣等の小学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか	.026	.033	.030	.046
79	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	.014	.031	.033	.050
80	前年度までに、近隣等の小学校と、意見を交換し合うなど、教員同士の交流を行いましたか	.024	.045	.045	.067
81	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	.002	.011	.016	.029
82	平成 27 年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか	.013	.033	.035	.056
83	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	-.058	-.068	-.045	-.037
84	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート 補助 を行いましたか	.027	.022	.022	.018
85	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	-.061	-.084	-.073	-.083
86	職場見学や職場体験活動を行っていますか	.083	.096	.098	.105
87	PTA や地域の人が学校の諸活動 学校の美化などにボランティアとして参加してくれますか	-.089	-.089	-.079	-.080
88	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校に	.005	.009	.007	.008

	おける教育活動や様々な活動に参加してくれますか				
89	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	-.043	-.052	-.041	-.044
90	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題 宿題 を与えましたか	-.053	-.059	-.067	-.054
91	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	-.082	-.089	-.094	-.086
92	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	-.075	-.083	-.107	-.092
93	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	-.085	-.098	-.117	-.106
94	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか 国語	-.032	-.028	-.040	-.029
95	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか 国語	-.025	-.029	-.029	-.023
96	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか 国語	-.127	-.134	-.148	-.151
97	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか 国語	-.082	-.079	-.075	-.070
98	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、予習・復習や宿題をさせる際に、教科書の活用 自宅等で教科書を読むなどを含む を促しまし	-.074	-.065	-.070	-.066

たか 国語

99	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	-.015	-.021	-.009	-.019
100	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	.017	.006	.007	-.007
101	都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか	.022	.015	.030	.012
102	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	-.024	-.037	-.029	-.041
103	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	-.044	-.052	-.043	-.062
104	教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	-.037	-.043	-.047	-.056
105	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	-.094	-.104	-.090	-.100
106	コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか	-.070	-.076	-.088	-.098
107	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	-.001	-.007	.000	-.012
108	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	-.071	-.083	-.069	-.086
109	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	-.054	-.061	-.070	-.087
110	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	-.066	-.090	-.075	-.092

111	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	-.099	-.117	-.093	-.117
112	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	-.089	-.096	-.088	-.096
113	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	-.065	-.077	-.072	-.076
114	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	.020	.020	.042	.035

### 2.2.3. 本体学校調査の中学校質問紙における因子分析

平成 28 年度の学校質問紙の探索的因子分析を行い、ガットマン基準及び解釈可能性の観点から因子数を決定し、因子負荷量が.25 に満たない項目は下位因子から除外した。分析の結果、小学校は 13 因子が析出されたが、中学校では 12 因子が析出され、小学校・中学校では、若干異なる因子構造が析出された。

中学校の第 1 因子は、小学校の第 2 因子「組織的取組、校内研修」と全く同じ項目群から構成されていたため、同様に「組織的取組、校内研修」とした。中学校の第 2 因子の項目は全て小学校の第 1 因子「主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善」に含まれていたため、同様に「主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善」とした。中学校の第 3 因子は、小学校の第 3 因子「前向きな児童の様子」の項目が全て含まれていたため、「前向きな生徒の様子」と命名した。中学校では、小学校と異なり、1 項目「51 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律 私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなどの支持を徹底しましたか」という教師側の指導に関する項目が含まれたが、これも学習規律に関する項目であり、この因子に潜在的に共通する要因が学習規律であることがここでも明白である。中学校の第 4 因子は、小学校の第 6 因子「国語と算数の指導」とほぼ同じ項目群から構成されたため「国語と数学の指導」とした。なお、中学校ではこの因子に含まれたが小学校では含まれなかった項目は「69 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか」であり、これは小学校では「主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善」の因子に含まれた。中学校の第 5 因子は宿題・予習・復習などの家庭学習に関わる項目群から構成されたため「国語と数学の家庭学習の指導」と命名した。小学校の場合は、家庭学習に関わる項目が第 11 因子「国語と算数の家庭学習」と第 12 因子「国語と算数の家庭学習の徹底指導」に分かれていたので、若干異なる構造となった。中学校の第 6 因子は小学校の第 4 因子と同じ項目群から構成されたため、同様に「小中連携」とした。中学校の第 7 因子は小学校の第 7 因子と同様の項目群から構成されたため、同様に「全国学力・学習状況調査の活用」とした。中学校の第 8 因子は、小学校の第 5 因子と同様の項目群から構成されたため、同様に「カリキュラム・マネジメント」

とした。中学校の第9因子は、小学校の第9因子と同じ項目群から構成されたため、同様に「地域との連携・協働」とした。中学校の第10因子は、小学校の第13因子と共通性が高い。共通点は、どちらも「ねらい・めあて」の指示に関わる点である。小学校はこれに学習規律の項目が加わり、中学校は「振り返り」が加わる。いずれにせよ、課題解決的な学習の前提となる授業過程の形や基盤に関する点で共通するため小学校と同様に「課題解決的な学習の基盤づくり」とした。中学校の第11因子は、小学校の第10因子「算数の習熟度別授業」と同様の項目から構成されるため、「数学の習熟度別授業」とした。中学校の第12因子は、小学校の第8因子と同様の項目から構成されるため、同様に「コンピュータを活用した授業」とした。なお、項目56は第2因子にも一定の負荷量が見られた。これは、「協働学習」に反応したものと考えられる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
I <組織的取り組み、校内研修> $\alpha=.812$													
99	<b>.679</b>	-.040	.008	-.075	.018	.023	-.013	-.053	-.008	.049	.029	.003	.077
100	<b>.603</b>	-.071	-.020	-.029	-.010	.008	-.062	-.073	.056	.004	.021	.010	-.065
101	<b>.580</b>	-.159	-.027	-.053	-.026	.080	.001	-.056	.109	.048	.001	.007	-.132
102	<b>.750</b>	-.081	-.003	-.077	.018	.005	-.034	-.082	.026	.016	.018	.014	-.065
103	<b>.676</b>	.020	-.007	-.029	.056	-.044	-.049	-.092	.014	-.037	.014	-.016	.053
104	<b>.628</b>	.007	-.017	-.023	.000	.032	-.007	-.051	.073	-.074	.013	-.014	-.010
105	<b>.620</b>	-.005	-.006	-.040	-.017	.032	.025	.012	.045	-.044	-.024	.004	-.194
106	<b>.396</b>	.054	.004	-.028	-.006	-.016	-.009	.057	.053	-.112	-.015	<b>.321</b>	-.144
107	<b>.388</b>	-.105	-.030	-.059	.009	-.029	.038	-.037	.020	.099	.000	.060	-.095
108	<b>.704</b>	.008	.035	.042	-.022	-.044	-.057	.014	.005	-.061	-.020	-.001	.086
109	<b>.529</b>	.056	.001	.091	-.004	-.039	-.033	.135	-.052	-.085	.012	-.044	.105
110	<b>.635</b>	.047	-.028	.062	-.048	-.014	.020	.062	-.061	-.039	-.023	.002	.025
111	<b>.542</b>	.149	-.009	.036	-.033	.011	.009	.062	-.076	-.028	-.019	-.025	.061
112	<b>.485</b>	.031	.018	.041	.054	.018	.155	.000	-.099	-.034	.011	-.023	.205
113	<b>.533</b>	.056	.030	.035	.030	.003	.066	.021	-.061	-.072	.019	-.019	.206
114	.143	-.078	-.008	-.019	-.011	.024	.071	.025	.079	.105	.003	.033	.063
II <主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善> $\alpha=.887$													
39	.093	<b>.391</b>	.057	.042	-.008	-.042	-.046	.007	-.067	<b>.266</b>	.000	-.072	-.090
40	.069	<b>.403</b>	.070	.000	.013	-.031	-.066	-.021	-.038	<b>.305</b>	-.002	-.049	.017
42	.125	<b>.440</b>	.056	-.064	.000	.001	.030	-.142	-.037	<b>.269</b>	-.029	-.028	-.074
43	-.057	<b>.710</b>	-.019	-.096	.013	-.007	-.013	.057	.010	-.035	.003	-.032	.018
44	-.007	<b>.558</b>	.038	-.061	-.009	.004	.030	.034	.032	.053	-.001	-.023	-.201

45	-.090	<b>.905</b>	-.045	-.076	-.015	.013	-.031	-.058	-.033	-.140	.007	.150	.085
46	-.081	<b>.987</b>	-.023	-.083	-.014	.027	.014	-.091	-.048	-.141	.030	.039	-.003
47	-.078	<b>.829</b>	-.006	.045	-.023	.007	-.009	-.049	-.031	-.049	.000	-.037	.036
48	-.027	<b>.571</b>	-.049	.004	.002	-.009	.019	-.038	.051	.067	.002	-.054	.145
49	-.017	<b>.589</b>	.003	-.005	.014	-.009	.019	-.007	.074	-.025	.001	-.078	.043
50	.035	<b>.410</b>	.033	.001	.008	.009	.001	.015	.023	.112	.014	-.028	.051
52	.024	<b>.408</b>	-.006	.035	.030	-.002	-.023	-.011	.143	-.031	-.024	.028	.033
53	.088	<b>.292</b>	.034	.081	.020	-.016	.010	.053	.002	.075	.039	-.028	.164
54	.058	<b>.383</b>	-.007	.170	-.052	.014	.038	.044	-.011	.014	-.019	-.036	-.019
55	.027	<b>.275</b>	-.014	.170	-.021	.017	.018	.166	.026	.011	.019	-.009	-.052

III <前向きな生徒の様子>  $\alpha=.871$

14	-.034	-.025	<b>.714</b>	.037	-.009	-.003	-.008	.048	.030	-.045	-.002	.032	.134
15	-.049	-.051	<b>.798</b>	.006	-.030	.009	-.021	-.005	.037	-.037	.005	.060	<b>.385</b>
16	-.074	-.001	<b>.779</b>	-.018	-.025	-.003	-.011	.019	.041	-.046	.031	.065	<b>.348</b>
17	.045	-.017	<b>.676</b>	-.011	.028	.011	.037	-.066	.000	-.013	.003	-.029	<b>-.250</b>
18	.019	-.006	<b>.752</b>	-.043	.014	.005	.001	-.015	.006	.003	.015	.019	.095
19	.051	-.015	<b>.708</b>	-.014	.036	-.003	.013	-.034	.007	-.015	-.007	-.040	-.241
20	.000	.029	<b>.602</b>	-.001	.011	.006	.000	.025	-.009	.050	-.037	-.015	.017
21	-.015	.081	<b>.634</b>	.016	.012	.011	.030	.010	-.002	-.062	.003	-.027	-.228
51	-.071	.188	<b>.279</b>	.031	.049	-.001	.029	-.031	.013	.127	.021	.008	<b>.294</b>

IV <国語と数学の指導>  $\alpha=.793$

67	-.038	-.125	-.059	<b>.670</b>	-.006	.022	.000	-.021	.025	.006	.000	.040	.054
68	-.035	-.054	.067	<b>.715</b>	-.087	-.002	-.006	-.022	-.017	-.044	-.042	.023	-.092
69	.025	.101	.043	<b>.507</b>	-.060	.035	-.037	-.060	-.004	.026	-.051	-.005	-.045
70	-.031	.010	-.021	<b>.620</b>	-.013	.005	-.012	-.052	-.025	.066	-.073	-.017	.074
71	-.038	.039	.040	<b>.585</b>	-.023	-.008	-.027	-.001	-.020	-.043	-.033	-.010	.018
72	-.058	.052	-.041	<b>.436</b>	.047	.006	-.014	-.020	-.009	.052	-.048	-.051	.188
73	-.015	-.091	-.051	<b>.586</b>	.005	.003	.019	-.033	.031	.014	.103	.029	.078
74	-.008	-.053	.110	<b>.598</b>	-.055	.005	.015	-.026	-.032	-.039	.128	.002	-.100
75	.058	.034	.011	<b>.419</b>	-.033	.026	.009	-.012	.027	.019	-.014	.032	-.049
76	-.061	-.006	-.091	<b>.414</b>	.105	.020	-.015	.007	.031	.053	.016	-.025	.153

V <国語と数学の家庭学習の指導>  $\alpha=.842$

90	-.039	-.070	.005	-.058	<b>.788</b>	.020	-.011	-.013	-.015	.050	-.019	.033	-.031
----	-------	-------	------	-------	-------------	------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------

91	-.022	.006	.025	.005	<b>.770</b>	.019	-.001	-.026	-.038	.001	-.032	-.021	-.019
92	-.011	-.031	.031	-.094	<b>.787</b>	.000	-.037	-.011	-.011	.034	.019	.021	-.007
93	.005	.028	.005	-.045	<b>.772</b>	.006	-.009	-.008	-.038	-.002	.010	-.019	-.023
94	.042	.044	-.030	.114	<b>.354</b>	.002	.061	.036	.046	-.034	.023	-.006	.017
95	.127	-.061	-.045	.088	<b>.391</b>	-.035	.023	.063	.031	.054	.004	.024	-.001
96	-.002	.128	.023	<b>.259</b>	<b>.286</b>	.009	-.018	.055	.027	-.126	-.009	.011	-.100
97	.129	.063	-.033	.205	<b>.331</b>	-.025	.022	-.012	.018	.002	-.024	-.031	.027
98	.032	.066	.008	.223	<b>.261</b>	-.020	.002	.059	.037	-.027	-.016	-.019	.040

VI <小中連携>  $\alpha=.895$

78	.000	-.032	.008	.024	.022	<b>.782</b>	-.038	.048	.001	-.004	-.005	.001	-.012
79	.010	.011	.017	.007	.001	<b>.891</b>	-.045	-.031	-.037	.002	-.002	-.002	.006
80	.032	.071	.001	.001	-.030	<b>.856</b>	-.009	-.058	-.015	-.001	-.001	-.032	.075
81	-.001	.007	.018	.017	.011	<b>.840</b>	-.048	.060	-.025	-.025	.012	.014	-.039
82	-.014	-.057	-.025	.009	.041	<b>.579</b>	.192	.028	.019	.037	-.005	.012	-.015

VII <全国学力・学習状況調査の活用>  $\alpha=.847$

59	-.015	-.005	.029	-.003	-.004	-.057	<b>.956</b>	-.027	-.108	-.007	-.008	.000	.041
60	.000	.003	.007	-.003	-.001	-.039	<b>.951</b>	-.008	-.096	-.024	-.010	.013	.007
61	-.056	.016	.012	-.028	.003	.017	<b>.637</b>	-.011	.087	-.027	-.002	-.043	-.026
62	-.031	.002	-.012	.004	.010	.038	<b>.572</b>	.029	.119	-.006	-.003	-.022	-.024
63	.051	-.030	-.013	.011	-.033	.075	<b>.496</b>	.000	.077	.070	.004	.030	.077

VIII <カリキュラム・マネジメント>  $\alpha=.822$

28	-.017	.007	.076	.073	.006	-.039	-.021	<b>.494</b>	-.057	.012	-.014	.017	.027
29	.166	.068	.063	.021	-.067	-.003	-.004	<b>.399</b>	-.073	.085	-.024	-.007	-.013
30	-.031	-.019	-.025	-.036	-.014	-.009	-.032	<b>.847</b>	-.005	-.014	-.002	.005	-.039
31	-.101	-.081	-.033	-.063	.016	.027	-.019	<b>.914</b>	.011	-.031	.003	-.007	-.025
32	-.061	-.027	-.002	-.038	.004	.012	-.002	<b>.787</b>	-.003	-.012	.016	-.013	.010
33	.080	.021	.026	-.058	-.006	.035	.111	<b>.449</b>	.035	.049	-.003	.003	.053
34	.020	.176	.002	-.079	.000	.012	.025	<b>.356</b>	.244	-.036	-.006	.004	.000

IX <地域との連携・協働>  $\alpha=.662$

83	.050	.183	-.030	-.033	.032	.051	.060	-.072	<b>.397</b>	-.017	-.001	.005	.002
84	.015	-.009	-.076	.044	-.036	.010	.046	-.002	<b>.436</b>	-.023	.058	.008	-.138
85	.021	.156	-.038	.080	.001	-.044	-.024	.023	<b>.291</b>	-.133	.035	.064	-.139
87	.071	.011	.113	-.014	-.001	-.007	-.024	-.046	<b>.476</b>	.087	-.046	-.058	.111

88	.008	-.082	.048	-.022	-.028	-.020	-.029	.048	<b>.635</b>	.057	-.010	-.051	-.002
89	.083	-.050	.086	.039	-.014	-.054	-.032	-.005	<b>.569</b>	.054	-.047	-.069	.078
X <課題解決的な授業の基盤づくり> $\alpha=.766$													
36	-.009	-.072	-.026	-.007	.020	-.002	-.004	-.031	.032	<b>.807</b>	.025	.096	.109
37	-.038	.034	-.033	.022	.042	-.026	-.006	.010	.021	<b>.686</b>	.029	.049	.028
38	.114	.247	.003	.054	-.052	-.012	-.003	.119	-.056	<b>.326</b>	-.011	-.018	-.065
41	-.042	.038	-.053	-.004	.020	.043	.012	.007	.042	<b>.628</b>	-.003	.071	.064
XI <数学における習熟度別授業> $\alpha=.938$													
64	.028	.018	-.001	-.025	-.009	.000	-.019	.005	-.013	.039	<b>.929</b>	-.011	-.004
65	.024	.013	.017	.017	-.017	.005	-.003	-.002	-.016	.019	<b>.964</b>	-.024	-.031
XII <コンピュータを活用した授業> $\alpha=.692$													
56	.042	<b>.416</b>	-.010	-.007	-.007	.003	-.018	.012	.010	-.076	-.016	<b>.379</b>	-.011
57	.000	-.015	.022	.029	.019	-.010	-.036	-.004	-.052	.122	-.024	<b>.760</b>	.017
58	.006	-.078	.051	.010	-.002	.001	.020	-.017	-.067	.143	-.005	<b>.758</b>	.058
1	.680	.421	.573	.420	.367	.520	.642	.398	.567	.029	.247	-.054	
2		.610	.677	.422	.199	.400	.655	.331	.600	.024	.241	-.170	
3			.453	.244	.054	.209	.434	.159	.392	-.026	.127	-.252	
4				.558	.174	.383	.561	.317	.436	.178	.228	-.072	
5					.136	.276	.345	.208	.314	.073	.136	.153	
6						.421	.245	.447	.256	.039	.162	.029	
7							.406	.375	.407	.053	.187	.084	
8								.340	.484	.056	.182	-.083	
9									.161	.137	.315	-.059	
10										-.079	.016	-.012	
11											.174	-.070	
12												-.191	

#### 2.2.4. H28 本体学校調査の尺度得点による重回帰分析

中学校調査質問紙の各質問紙項目および上記探索的因子分析で見いだされた各因子を説明変数、学力を従属変数とした重回帰分析（強制投入法）を行った。いずれの領域についても、やや弱い説明力が見られた。いずれの領域においても、「前向きな児童の様子」による説明力が最も高く、授業改善を含め、学校要因の直接的な説明力は極めて弱いと言わざるを得ない。

国語 A の結果は以下のとおりであった。

$R^2=.152$	非標準化係数	標準化係数 ( $\beta$ )	$r$	$VIF$
組織的取り組み、校内研修	0.07	0.08	-.064	1.89
主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善	-0.05	-0.05	-.204	2.63
前向きな生徒の様子	-0.61	-0.37	-.373	1.49
国語と数学の指導	-0.09	-0.05	-.154	1.70
国語と数学の家庭学習の指導	0.00	0.00	-.105	1.52
小中連携	0.06	0.04	.018	1.32
全国学力・学習状況調査の活用	-0.11	-0.05	-.077	1.40
カリキュラム・マネジメント	0.03	0.02	-.116	1.73
地域との連携・協働	0.01	0.01	-.048	1.32
課題解決的な授業の基盤づくり	0.12	0.04	-.094	1.69
数学における習熟度別授業	0.14	0.07	.063	1.05
コンピュータを活用した授業	0.02	0.01	-.059	1.19

国語 B の結果は以下のとおりであった。

$R^2=.168$	非標準化係数	標準化係数 ( $\beta$ )	$r$	$VIF$
組織的取り組み、校内研修	0.08	0.06	-.080	1.89
主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善	-0.09	-0.06	-.228	2.63
前向きな生徒の様子	-0.89	-0.39	-.396	1.49
国語と数学の指導	-0.12	-0.05	-.168	1.70
国語と数学の家庭学習の指導	0.03	0.01	-.110	1.52
小中連携	0.13	0.06	.036	1.32
全国学力・学習状況調査の活用	-0.07	-0.02	-.060	1.40
カリキュラム・マネジメント	0.06	0.02	-.127	1.73
地域との連携・協働	-0.01	0.00	-.059	1.32
課題解決的な授業の基盤づくり	0.13	0.03	-.108	1.69
数学における習熟度別授業	0.13	0.05	.037	1.05
コンピュータを活用した授業	-0.03	-0.01	-.081	1.19

数学 A の結果は以下のとおりであった。

$R^2=.185$	非標準化係数	標準化係数 ( $\beta$ )	$r$	$VIF$
------------	--------	-------------------	-----	-------

組織的取り組み、校内研修	0.09	0.07	-0.068	1.89
主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善	-0.03	-0.02	-.204	2.63
前向きな生徒の様子	-1.07	-0.43	-.412	1.50
国語と数学の指導	-0.13	-0.05	-.166	1.70
国語と数学の家庭学習の指導	-0.05	-0.02	-.123	1.52
小中連携	0.13	0.06	.037	1.32
全国学力・学習状況調査の活用	-0.14	-0.04	-.066	1.40
カリキュラム・マネジメント	0.03	0.01	-.122	1.73
地域との連携・協働	0.03	0.01	-.046	1.32
課題解決的な授業の基盤づくり	0.38	0.08	-.071	1.69
数学における習熟度別授業	0.13	0.04	.033	1.05
コンピュータを活用した授業	-0.02	-0.01	-.074	1.19

数学 B の結果は次のとおりである。

$R^2=.190$	非標準化係数	標準化係数 (β)	$r$	$VIF$
組織的取り組み、校内研修	0.04	0.03	-.091	1.89
主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善	-0.07	-0.04	-.226	2.63
前向きな生徒の様子	-1.01	-0.42	-.417	1.50
国語と数学の指導	-0.15	-0.06	-.176	1.70
国語と数学の家庭学習の指導	0.03	0.01	-.112	1.52
小中連携	0.19	0.08	.058	1.32
全国学力・学習状況調査の活用	-0.07	-0.02	-.055	1.40
カリキュラム・マネジメント	0.01	0.00	-.136	1.73
地域との連携・協働	0.03	0.01	-.048	1.32
課題解決的な授業の基盤づくり	0.34	0.07	-.085	1.69
数学における習熟度別授業	0.13	0.05	.035	1.05
コンピュータを活用した授業	-0.02	-0.01	-.080	1.19

## 第2章 新しい質問紙調査の分析

### 1. 独自の児童生徒調査に関する分析

#### 1.1. 独自児童調査の調査用紙 A に関する分析

まず、本研究において独自に行われた児童質問紙についても、本体調査同様に記述統計の確認を行った。

No	項目	平均	標準偏差
1	誘惑に負けず，計画的に行動できる	2.14	0.73
2	なにごとにも我慢できず，なまけてしまう	2.97	0.80
3	だらけてしまう	2.82	0.92
4	誘惑に負けない	2.13	0.82
5	よくないことと知りつつ，やめられない時がある	2.94	0.95
6	他の楽しいことに夢中になり，やるべきことがそっちのけになることがある	2.41	0.95
7	家の人（兄弟姉妹は含みません）と学校での出来事や友人関係について話をしますか	1.68	0.90
8	家の人（兄弟姉妹は含みません）に放課後や休日どこで何をしているか話をしますか	1.70	0.94
9	親は私が放課後や休日どこで何をしているかを知っている	1.51	0.79
10	親は私の友人関係を知っている	1.53	0.77
11	親は学校での出来事をよく聞いてくる	2.00	0.95
12	今住んでいる地域の人たちに，ほめられたり，しかられたりしたことがある	2.35	1.12
13	今住んでいる地域の人たちとあいさつをしたり，はなしをしたりする	1.71	0.88
14	地域の子どもが参加する，自然体験活動（ハイキングなど）や季節行事（もちつきなど）に参加する	2.18	1.08
15	公園の掃除や，花・木を植えるなど地域をきれいにする活動に参加する	2.52	1.15
16	地域で行う廃品回収（リサイクル活動）やバザーを手伝う	2.88	1.07
17	地域の伝統技術（伝統芸）体験に参加する	3.08	1.04

18	近所の人にほめられる	2.33	1.01
19	近所に住んでいる大人と挨拶したり、話をしたりする	1.81	0.94
20	友だちの家へ行ったとき、友達の親とも話をする	1.82	0.92
21	あなたは、はきはきとした気持ちのよいあいさつをしていますか	1.96	0.81
22	あなたは、自分の名前が呼ばれたら、きちんと返事をしていますか	1.57	0.66
23	あなたは、友だちが困っていたら、何かできることをしていますか	1.63	0.70
24	あなたは、学級のみんなで話し合っって決めたことについて、協力して活動していますか	1.64	0.68
25	あなたは、友だちの悪口を言わないようにしていますか	1.86	0.83
26	あなたは、友だちにうそをつかないようにしていますか	1.64	0.75
27	あなたは、友だちが謝ったら許したり、友だちの失敗や間違いに対して文句を言わず、優しく接したりしていますか	1.64	0.68
28	あなたは、自分が使ったものを、きちんと後片付けしていますか	1.48	0.69
29	あなたは、自分の身の回りの整理・整頓を、きちんとしていますか	1.84	0.84
30	道徳の授業は、自分の今の生活や将来にとってためになると思う	1.84	0.88
31	道徳の授業では、自分を見つめ、自分の生き方について考えを深めることができた	2.02	0.89
32	道徳の授業において、様々な問題や課題についてグループや学級で考え話し合う活動に取り組んでいたと思う	1.87	0.83
33	私のことをわかってくれている先生がいる	1.74	0.88
34	自分がわからないことや疑問を先生にきくことができる	1.84	0.93
35	自分がわからないことや疑問を友達にきくことができる	1.34	0.66
36	課題（問題）を解決するために、どのように学習していけばよいかわかっている	1.75	0.75
37	授業で学習していることに対して「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と考えたくなる。	1.88	0.90
38	授業中に、他によい考えがないかどうか考えながら学習している	1.99	0.81
39	自分の考えをもって真剣に話し合いに参加している	1.89	0.79
40	意見を言うときは、理由も言うようにしている	1.95	0.87
41	話し合いのとき、適当に友達の意見に合わせることもある	2.38	0.93
42	話し合いを終えると自分の考えが広がったり深まったりしている	2.05	0.86

43	先生の説明を聞く授業が好きだ	2.31	0.96
44	学級やグループで、話し合う授業が好きだ	1.98	0.98
45	自分で（自分達で）情報を集めて課題を解決する授業が好きだ。	1.97	0.97
46	授業中に、計算問題や漢字練習に何度も取り組んだ	1.99	0.86
47	授業の最後に「わかった」「できた」「よく頭を使った」などと 感じる人が多い	1.95	0.91
48	授業で学習したことを友達や家の人によく話す	2.24	1.05
49	授業でわからなかったことや不思議に思ったことを自分で調べる ことがある	2.37	1.03
50	自分ひとりでも勉強ができるようになりたい	1.47	0.79
51	独りぼっちのような気がする	3.30	0.89
52	いつも、何をしても楽しい	2.12	0.95
53	失敗しないかといつも心配している	2.18	1.04
54	自分の知らないことに興味を持つ	1.79	0.92
55	まわりに親切な人が多い	1.59	0.71
56	自分のことを好ましく感じる	2.56	0.93
57	自分にはいろいろな良い素質があると思う	2.47	0.95
58	できそうにないことでも、考えることがある	1.91	0.92
59	活動的で、何についても前向きである。	2.31	0.91
60	学級みんなで協力して、なにかをやり遂げたことがある	1.53	0.75
61	話し合いのときにみんなの意見を一つにまとめることができる	2.45	0.97
62	人が困っているときには、協力することができる	1.64	0.75
63	授業で習ったことを深く理解するために、自ら考え、自分から取 り組んでいたと思う	2.03	0.81
64	きめられた仕事は責任を持ってやりとおす	1.44	0.62
65	会や集まりの時、人より進んで働く	2.09	0.77
66	自分で計画を立てて勉強をしている	1.95	0.91
67	自分で立てた計画通りに進まないとき、計画を見直した	2.17	0.99
68	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビ ゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話や スマートフォンを使ったゲームも含みます）をしますか	3.88	1.41
69	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりど れくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家 庭教師の先生に教わっている時間も含まれます）	3.57	1.08

70	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます）	3.97	1.17
71	学校の宿題をしている	1.32	0.65
72	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う	1.65	0.80
73	国語の授業の内容はよく分かる	1.88	0.81
74	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている	2.01	0.85
75	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる	1.98	0.87
76	国語のテストで、解答を文章で書く問題に対してどのように解答していますか	1.19	0.41
77	算数の勉強は好きだ	2.07	1.05
78	算数の授業の内容はよく分かる	1.76	0.85
79	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい	1.94	1.02
80	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える	1.85	0.85
81	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている	1.80	0.86
82	算数のテストで、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、どのように解答していますか	1.21	0.42
83	理科の勉強は好きだ	1.88	0.97
84	理科の授業の内容はよくわかる	1.75	0.85
85	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている	1.67	0.79
86	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている	1.97	0.84
87	理科のテストの問題で、解答を文章などで書く問題について、どのように解答していますか。	1.17	0.39

各項目について平均値と標準偏差を確認したところ、一部の項目について偏りが認められた。

次に、各項目と学力の間の関連性を検討するために、第IV部において作成された学力代理変数について、項目得点を加算して算出し、各項目との相関係数を求めた。さらに、重回帰分析を行った結果を以下に示す。

$R^2=.654$		非標準化 係数	標準化 係数 (β)	$r$	$VIF$
1	誘惑に負けず，計画的に行動できる	-0.11	-0.01	.402	1.85
2	なにごととも我慢できず，なまけてしまう	-0.63	-0.05	-.391	2.02
3	だらけてしまう	0.12	0.01	-.389	2.08
4	誘惑に負けない	0.42	0.04	.360	1.58
5	よくないことと知りつつ，やめられない時がある	-0.24	-0.02	-.239	1.37
6	他の楽しいことに夢中になり，やるべきことがそっ ちのけになることがある	-0.31	-0.03	-.346	1.58
7	家の人（兄弟姉妹は含みません）と学校での出来事 や友人関係について話をしますか	0.06	0.01	.281	1.76
8	家の人（兄弟姉妹は含みません）に放課後や休日ど こで何をしているか話をしますか	0.08	0.01	.325	1.87
9	親は私が放課後や休日どこで何をしてるかを知っ ている	0.74	0.06	.304	1.48
10	親は私の友人関係を知っている	-0.22	-0.02	.219	1.51
11	親は学校での出来事をよく聞いてくる	-0.11	-0.01	.226	1.39
12	今住んでいる地域の人たちに，ほめられたり，しか られたりしたことがある	-0.09	-0.01	.123	1.71
13	今住んでいる地域の人たちとあいさつをしたり，は なしをしたりする	-0.06	-0.01	.252	2.35
14	地域の子どもが参加する，自然体験活動（ハイキン グなど）や季節行事（もちつきなど）に参加する	-0.06	-0.01	.166	1.49
15	公園の掃除や，花・木を植えるなど地域をきれいに する活動に参加する	0.24	0.03	.217	1.57
16	地域で行う廃品回収（リサイクル活動）やバザーを 手伝う	0.02	0.00	.148	1.42
17	地域の伝統技術（伝統芸）体験に参加する	0.19	0.02	.203	1.36
18	近所の人にほめられる	0.10	0.01	.246	2.23
19	近所に住んでいる大人と挨拶したり，話をしたりす る	-0.10	-0.01	.282	2.43
20	友だちの家へ行ったとき，友達の親とも話をする	-0.18	-0.02	.203	1.42
21	あなたは，はきはきとした気持ちのよいあいさつを していますか	0.34	0.03	.369	1.67

22	あなたは、自分の名前が呼ばれたら、きちんと返事をしていますか	0.08	0.01	.328	1.39
23	あなたは、友だちが困っていたら、何かできることをしていますか	-0.97	-0.07	.325	2.01
24	あなたは、学級のみinnで話し合って決めたことについて、協力して活動していますか	0.13	0.01	.443	1.87
25	あなたは、友だちの悪口を言わないようにしていますか	0.01	0.00	.251	1.58
26	あなたは、友だちにうそをつかないようにしていますか	0.23	0.02	.291	1.57
27	あなたは、友だちが謝ったら許したり、友だちの失敗や間違いに対して文句を言わず、優しく接したりしていますか	0.08	0.01	.294	1.57
28	あなたは、自分が使ったものを、きちんと後片付けしていますか	-0.42	-0.03	.271	1.66
29	あなたは、自分の身の回りの整理・整頓を、きちんとしていますか	0.02	0.00	.285	1.64
30	道徳の授業は、自分の今の生活や将来にとってためになると思う	-0.11	-0.01	.368	2.00
31	道徳の授業では、自分を見つめ、自分の生き方について考えを深めることができた	0.49	0.05	.464	2.36
32	道徳の授業において、様々な問題や課題についてグループや学級で考え話し合う活動に取り組んでいたと思う	-0.18	-0.02	.402	1.79
33	私のことをわかってくれている先生がいる	0.42	0.04	.343	1.61
34	自分がわからないことや疑問を先生にきくことができる	-0.12	-0.01	.335	1.58
35	自分がわからないことや疑問を友達にきくことができる	0.04	0.00	.280	1.48
36	課題（問題）を解決するために、どのように学習していけばよいかわかっている	2.46	0.20	.600	1.70
37	授業で学習していることに対して「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と考えたくなる。	0.19	0.02	.382	1.49
38	授業中に、他によい考えがないかどうか考えながら学習している	0.91	0.08	.563	1.89

39	自分の考えをもって真剣に話し合いに参加している	0.32	0.03	.540	2.16
40	意見を言うときは、理由も言うようにしている	0.97	0.09	.488	1.55
41	話し合いのとき、適当に友達の見解に合わせることもある	-0.37	-0.04	-.149	1.17
42	話し合いを終えると自分の考えが広がったり深まったりしている	0.46	0.04	.517	1.87
43	先生の説明を聞く授業が好きだ	0.44	0.05	.374	1.50
44	学級やグループで、話し合う授業が好きだ	0.22	0.02	.381	1.60
45	自分で（自分達で）情報を集めて課題を解決する授業が好きだ。	0.80	0.08	.489	1.59
46	授業中に、計算問題や漢字練習に何度も取り組んだ	0.65	0.06	.518	1.71
47	授業の最後に「わかった」「できた」「よく頭を使った」などと感じることが多い	0.69	0.07	.543	1.86
48	授業で学習したことを友達や家の人によく話す	-0.10	-0.01	.372	1.82
49	授業でわからなかったことや不思議に思ったことを自分で調べることがある	0.27	0.03	.463	1.65
50	自分ひとりでも勉強ができるようになりたい	0.33	0.03	.286	1.26
51	独りぼちのような気がする	0.13	0.01	-.170	1.41
52	いつも、何をしても楽しい	-0.40	-0.04	.224	1.55
53	失敗しないかといつも心配している	-0.30	-0.03	-.139	1.32
54	自分の知らないことに興味を持つ	0.40	0.04	.300	1.28
55	まわりに親切な人が多い	0.38	0.03	.273	1.54
56	自分のことを好ましく感じる	0.03	0.00	.315	2.00
57	自分にはいろいろな良い素質があると思う	0.25	0.03	.373	2.09
58	できそうにないことでも、考えることがある	0.49	0.05	.367	1.48
59	活動的で、何についても前向きである。	-0.26	-0.03	.426	1.99
60	学級みんなで協力して、なにかをやり遂げたことがある	-0.04	0.00	.371	1.60
61	話し合いのときにみんなの意見を1つにまとめることができる	0.22	0.02	.444	1.67
62	人が困っているときには、協力することができる	-0.09	-0.01	.412	2.15
63	授業で習ったことを深く理解するために、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う	1.21	0.11	.616	2.21

64	きめられた仕事は責任を持ってやりとおす	0.39	0.03	.383	1.58
65	会や集まりの時、人より進んで働く	0.19	0.02	.421	1.68
66	自分で計画を立てて勉強をしている	1.09	0.11	.502	2.07
67	自分で立てた計画通りに進まないとき、計画を見直した	0.15	0.02	.431	1.82

その後、最尤法・プロマックス回転による因子分析を実施した。児童質問紙においては、ガットマン基準及び解釈可能性の観点から因子数を決定し、因子負荷量が.25に満たない項目は下位因子から除外した。

	1	2	3	4	5	6	7
I	<主体的, 対話的な学習活動>				$\alpha=.907$		
38	<b>.768</b>	.032	-.044	-.036	-.027	-.075	-.007
63	<b>.746</b>	.159	-.045	-.073	-.059	-.057	.045
42	<b>.667</b>	-.089	-.011	-.027	.033	-.004	.142
47	<b>.665</b>	.047	-.048	.066	-.074	.000	.001
40	<b>.664</b>	-.027	-.033	-.046	-.001	-.040	-.029
39	<b>.650</b>	.014	-.062	-.063	.182	-.060	.085
45	<b>.649</b>	-.072	-.061	.006	-.032	-.009	.066
36	<b>.602</b>	.143	-.098	.051	-.040	.004	-.082
61	<b>.599</b>	.015	.050	-.067	-.079	.114	-.056
37	<b>.518</b>	-.059	.010	-.005	-.022	-.002	.106
46	<b>.517</b>	.249	.001	.011	-.051	-.045	-.044
49	<b>.499</b>	.138	.098	.121	-.189	-.054	.029
60	<b>.486</b>	-.132	-.030	.008	.227	.007	.036
58	<b>.431</b>	-.049	.074	-.029	-.080	.213	-.039
65	<b>.425</b>	.111	.132	-.107	.119	.041	-.065
34	<b>.421</b>	-.131	-.045	.103	.115	.083	-.036
32	<b>.411</b>	-.048	.047	-.019	.146	-.045	<b>.323</b>
44	<b>.402</b>	-.137	-.043	.038	.151	.094	.163
54	<b>.349</b>	-.072	.064	.079	-.058	.008	.045
50	<b>.305</b>	.011	-.031	.092	-.005	-.048	.128
35	<b>.282</b>	-.100	-.056	.210	<b>.271</b>	-.005	-.132
22	<b>.264</b>	-.001	.028	.004	<b>.260</b>	.061	-.036

II	<セルフ・コントロール>			α=.846			
2	.015	<b>-.640</b>	-.021	.039	-.078	-.073	.047
3	-.019	<b>-.635</b>	-.009	.002	-.039	-.044	.013
6	.078	<b>-.583</b>	.038	-.014	-.106	-.018	-.061
66	.233	<b>.548</b>	-.023	.129	-.135	-.012	-.032
29	-.117	<b>.517</b>	.055	.048	.133	.039	-.047
1	.134	<b>.513</b>	.003	-.088	.077	.111	-.047
28	-.102	<b>.508</b>	.029	.028	.207	-.030	-.032
4	.064	<b>.448</b>	.059	-.054	.032	.071	.029
67	.249	<b>.418</b>	.025	.139	-.110	-.037	.010
5	.209	<b>-.396</b>	.052	-.004	<b>-.336</b>	-.028	-.057
64	.193	<b>.310</b>	-.023	-.043	<b>.276</b>	-.012	-.054
III	<地域との関わり>			α=.815			
13	-.081	.014	<b>.793</b>	-.016	.086	-.047	-.032
19	.009	.018	<b>.779</b>	.011	.049	-.082	-.051
18	-.077	.014	<b>.766</b>	-.001	-.020	.072	.003
12	.025	-.131	<b>.644</b>	-.045	-.073	.005	-.003
15	-.053	.091	<b>.473</b>	-.014	-.033	-.040	.186
16	-.063	.062	<b>.452</b>	-.008	-.106	-.036	.133
14	-.036	.038	<b>.395</b>	.056	-.069	-.043	.159
20	.105	-.015	<b>.375</b>	.135	.097	-.042	-.145
17	.041	.009	<b>.321</b>	-.014	-.086	.056	.172
21	.194	-.007	<b>.312</b>	-.047	.201	.090	.014
IV	<家族とのコミュニケーション>			α=.788			
7	-.009	-.041	.019	<b>.696</b>	.063	-.014	.008
8	.015	.055	.035	<b>.681</b>	.011	-.032	-.010
10	-.124	.023	-.027	<b>.590</b>	.166	.041	-.025
9	.017	.098	-.067	<b>.567</b>	.013	-.063	-.029
11	.037	-.034	.013	<b>.504</b>	-.029	.027	.022
48	.202	-.019	.107	<b>.464</b>	-.073	.054	.079
V	<対人関係能力>			α=.786			
26	-.115	.229	-.064	.042	<b>.533</b>	-.039	.120
25	-.161	.231	-.047	-.026	<b>.507</b>	-.025	.202

27	-.125	<b>.251</b>	-.040	.038	<b>.494</b>	-.002	.135
23	.210	.067	.073	.051	<b>.468</b>	-.049	-.088
62	<b>.308</b>	.039	.071	-.033	<b>.436</b>	.001	-.026
24	<b>.343</b>	.180	-.060	-.060	<b>.375</b>	-.084	.059
55	.000	-.112	-.006	.079	<b>.355</b>	<b>.305</b>	.045
VI	<自尊意識>				$\alpha=.734$		
56	-.103	.086	.004	.058	-.058	<b>.781</b>	.077
57	.077	.096	-.019	-.040	-.110	<b>.756</b>	.061
52	.015	-.072	-.005	.063	.248	<b>.413</b>	-.010
59	<b>.364</b>	.063	.061	-.061	.061	<b>.369</b>	-.059
53	-.003	-.103	.045	.092	-.008	<b>-.337</b>	.133
51	.000	.015	.115	-.042	<b>-.256</b>	<b>-.336</b>	.102
VII	<道徳の授業の有用感>				$r=.652$		
30	.111	-.009	.119	-.009	.131	-.020	<b>.648</b>
31	<b>.326</b>	-.025	.098	-.022	.100	-.052	<b>.573</b>
43	.217	-.024	-.042	.075	.102	.083	.246
	1	.553	.547	.529	.567	.531	.346
	2		.226	.324	.350	.273	.267
	3			.444	.411	.354	.188
	4				.421	.362	.292
	5					.385	.176
	6						.144

A (基本的な生活習慣、家庭でのコミュニケーションなど、地域との関わり、規範意識、主体的・対話的・深い学び、自尊感情、対人関係基礎力) の項目における因子分析では、主体的、対話的な学習活動に該当する第 1 因子、セルフ・コントロールとみなすことができる第 2 因子、地域との関わりに該当する第 3 因子、家族とのコミュニケーションに該当する第 4 因子、対人関係能力に該当する第 5 因子、自尊意識に該当する第 6 因子、道徳の授業の有用感に関する第 7 因子が見いだされた。

その後、新規提案項目と妥当性項目をそれぞれ分けて因子分析と相関分析を行った結果、新規提案項目には 1 因子性が確認され、妥当性項目には先行研究を踏襲する概念構造が再現された。なお、項目数が 2 項目の場合には項目間の相関係数を算出し、項目数が少ない場合にも信頼性の検討を兼ねて項目間相関を求めた。

基本的生活習慣										2
1	誘惑に負けず，計画的に行動できる									-.408
家庭でのコミュニケーション										8
7	家の人（兄弟姉妹は含みません）と学校での出来事や友人関係について話をしますか									.517
地域との関わり										13
12	今住んでいる地域の人たちに，ほめられたり，しかられたりしたことがある									.405
道徳の有用感										
										$\alpha=.784$
										31
										32
30	道徳の授業は，自分の今の生活や将来にとってためになると思う									.652
31	道徳の授業では，自分を見つめ，自分の生き方について考えを深めることができた									.535
先生との学び										
										$\alpha=.655$
										34
										43
33	私のことをわかってくれている先生がいる									.441
34	自分がわからないことや疑問を先生にきくことができる									.317
主体的で深い学び										
										$\alpha=.796$
		49	36	46	45	48	37	35	50	
47	授業の最後に「わかった」「できた」「よく頭を使った」などと感じることが多い	.371	.436	.484	.386	.365	.371	.308	.268	
49	授業でわからなかったことや不思議に思ったことを自分で調べることがある	.371	.379	.341	.411	.364	.182	.238		

36	課題（問題）を解決するために、どのように学習していけばよいかわかっている	.372	.364	.283	.312	.270	.159
46	授業中に、計算問題や漢字練習に何度も取り組んだ		.312	.273	.260	.217	.248
45	自分で（自分達で）情報を集めて課題を解決する授業が好きだ			.295	.323	.261	.242
48	授業で学習したことを友達や家の人によく話す				.306	.253	.212
37	授業で学習していることに対して「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と考えたくなる					.224	.215
35	自分がわからないことや疑問を友達にきくことができる						.203

対話的で深い学び

		$\alpha=.770$	39	40	42
38	授業中に、他によい考えがないかどうか考えながら学習している	.517	.411	.454	
39	自分の考えをもって真剣に話し合いに参加している			.473	.463
40	意見を言うときは、理由も言うようにしている				.414

自尊感情

56	自分のことを好ましく感じる				.641
----	---------------	--	--	--	------

I II

<対人関係能力>

		$\alpha=.781$	
62	人が困っているときには、協力することができる	<b>.670</b>	-.011

65	会や集まりの時，人より進んで働く	.650	-.012
60	学級みんなで協力して，なにかをやり遂げたことがある	.601	-.086
61	話し合いのときにみんなの意見を1つにまとめることができる	.586	.016
63	授業で習ったことを深く理解するために，自ら考え，自分から取り組んでいたと思う	.541	.187
64	きめられた仕事は責任を持ってやりとおす	.498	.114
<課題対応能力>			
		<i>r</i> =.599	
66	自分で計画を立てて勉強をしている	-.092	<b>.973</b>
67	自分で立てた計画通りに進まないとき，計画を見直した	.120	<b>.591</b>
因子間相関			.609

以下は妥当性検討のための尺度項目の項目間相関、因子分析の結果である。

セルフコントロール			
		$\alpha$ =.663	I
3	だらけてしまう	.681	
6	他の楽しいことに夢中になり，やるべきことがそっちのけになることがある	.670	
5	よくないことと知りつつ，やめられない時がある	.500	
4	誘惑に負けない	-.460	
親の監督			
		$\alpha$ =.586	I
10	親は私の友人関係を知っている	.669	
9	親は私が放課後や休日どこで何をしてるかを知っている	.540	
11	親は学校での出来事をよく聞いてくる	.496	
地域住民との交流			
		I	II
<公的交流>			

			α=.713	
15	公園の掃除や、花・木を植えるなど地域をきれいにする活動に参加する	.686	.016	
14	地域の子どもが参加する、自然体験活動（ハイキングなど）や季節行事（もちつきなど）に参加する	.674	-.041	
16	地域で行う廃品回収（リサイクル活動）やバザーを手伝う	.581	.035	
17	地域の伝統技術（伝統芸）体験に参加する	.518	.023	

<私的交流>

			α=.696	
19	近所に住んでいる大人と挨拶したり、話をしたりする	-.041	.815	
18	近所の人にほめられる	.075	.667	
20	友だちの家へ行ったとき、友達の親とも話をする	-.002	.498	

規範意識

			I	II	III
--	--	--	---	----	-----

<対人間で遵守すべき行動>

			α=.696		
25	あなたは、友だちの悪口を言わないようにしていますか	.831	-.139	-.061	
26	あなたは、友だちにうそをつかないようにしていますか	.679	.008	-.009	
27	あなたは、友だちが謝ったら許したり、友だちの失敗や間違いに対して文句を言わず、優しく接したりしていますか	.486	.137	.061	

<対人間での望ましい行動>

			α=.682		
22	あなたは、自分の名前が呼ばれたら、きちんと返事をしていますか	-.081	.683	-.051	
21	あなたは、はきはきとした気持ちのよいあいさつをしていますか	-.078	.658	-.050	
23	あなたは、友だちが困っていたら、何かできることをしていますか	.132	.500	.061	
24	あなたは、学級のみんなで話し合っただけ決めたことについて、協力して活動していますか	.252	.371	.095	

<個人として遵守すべき行動>

			r=.557		
29	あなたは、自分の身の回りの整理・整頓を、きちんとしていますか	-.042	-.049	.822	

先述の通り、児童生徒調査については、本体調査の個人データとの紐付けが不可能であったため、本体調査の再分析により、学力と相関の強い項目を学力代理項目として設定した。そして、児童質問紙 A の上記探索的因子分析で見いだされた 7 因子を説明変数、学力代理変数を従属変数とした重回帰分析（強制投入法）を行った。

まず、全項目を用いた因子分析の結果から見出された因子を説明変数とした重回帰分析の結果、主体的、対話的な学習活動に該当する第 1 因子、セルフ・コントロールとみなすことができる第 2 因子、対人関係能力に該当する第 5 因子が有意な影響のある説明変数であることが明らかとなった。

$R^2=.596$	全体因子分析			
	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
主体的、対話的な学習活動	0.55	0.64	.753	2.76
セルフ・コントロール	0.37	0.23	.579	1.75
地域との関わり	0.02	0.01	.415	1.50
家族とのコミュニケーション	-0.05	-0.03	.349	1.41
対人関係能力	-0.18	-0.06	.490	2.01
自尊意識	0.01	0.00	.418	1.46
道徳の授業の有用感	0.21	0.04	.458	1.59

次に、新規提案項目を説明変数、学力代理変数を従属変数とした重回帰分析（ステップワイズ法）を行った結果、主体的で深い学びに関する項目からなる変数、対話的で深い学びに関する項目からなる変数、課題対応能力に関する項目からなる変数、対人関係能力に関する項目からなる変数、自尊感情に関する項目からなる変数が、有意な影響のある説明変数であることが明らかとなった。

$R^2=.603$	新規項目			
	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	VIF
基本的な生活習慣	0.67	0.09	.476	1.50
家庭でのコミュニケーション	-0.13	-0.02	.344	1.35
地域との関わり	-0.16	-0.03	.208	1.16
道徳の有用感	0.07	0.02	.494	1.73
先生との学び	0.21	0.05	.456	1.54

主体的で深い学び	0.59	0.31	.708	2.97
対話的で深い学び	0.99	0.28	.682	2.63
自尊感情	0.20	0.04	.381	1.32
対人関係能力	0.25	0.09	.639	2.73
課題対応能力	0.72	0.13	.520	1.56

さらに、対人関係能力に関する項目からなる変数について、学習意欲との関係を児童・生徒の別に確認した。学習意欲関連項目として、主体的な学習態度を尋ねた、「45 自分で（自分達で）情報を集めて課題を解決する授業が好きだ。」「49 授業でわからなかったことや不思議に思ったことを自分で調べることがある。」の各項目との相関を確認したところ、対人関係能力因子は、相関係数 0.47、0.44 で中程度の相関を示した。

	45 自分で（自分達で） 情報を集めて課題を 解決する授業が好き だ。	49 授業でわからなかつ たことや不思議に思っ たことを自分で調べ ることがある。	
新規・対人関係能力	Pearson の相関係数	0.472	0.445
	有意確率（両側）	0.000	0.000

そこで、学習意欲関連項目(45, 49)を従属変数とした重回帰分析（強制投入法）を行った結果、対人関係能力因子は有意な影響力のある説明変数であることが明らかになった。

従属変数：45 自分で（自分達で）情報を集めて課題を解決する授業が好きだ。

$R^2=0.228$	非標準化係数	標準化係数 (β)	VIF
新規・対人関係能力	0.130	0.433	1.306
新規・課題対応能力	0.046	0.081	1.306

従属変数：49 授業でわからなかったことや不思議に思ったことを自分で調べることがある

$R^2=0.232$	非標準化係数	標準化係数 (β)	VIF
新規・対人関係能力	0.108	0.340	1.309
新規・課題対応能力	0.131	0.215	1.309

生徒データで同様の分析を行なったところ、対人関係能力因子は、相関係数 0.404、0.441 で中程度の相関を示した。

		45 自分で (自分達で) 情報を集めて課題を解決する授業が好きだ。	49 授業でわからなかったことや不思議に思ったことを自分で調べることがある。
新規・対人関係能力	Pearson の相関係数	0.404	0.441
	有意確率 (両側)	0.000	0.000

そこで、学習意欲関連項目(45, 49)を従属変数とした重回帰分析 (強制投入法) を行った結果、対人関係能力因子は有意な影響力のある説明変数であることが明らかになった。

従属変数：45 自分で (自分達で) 情報を集めて課題を解決する授業が好きだ。

$R^2=.165$	非標準化係数	標準化係数 (β)	VIF
新規・対人関係能力	0.110	0.375	1.259
新規・課題対応能力	0.038	0.065	1.259

従属変数：49 授業でわからなかったことや不思議に思ったことを自分で調べることがある

$R^2=.221$	非標準化係数	標準化係数 (β)	VIF
新規・対人関係能力	0.106	0.359	1.261
新規・課題対応能力	0.106	0.181	1.261

最後に、妥当性項目を説明変数、学力代理変数を従属変数とした重回帰分析 (ステップワイズ法) を行った結果、対人間で望ましい行動に関する項目からなる因子、セルフコントロールに関する項目からなる因子、親の監督に関する項目からなる因子、公的交流に関する項目からなる因子、個人として遵守すべき行動に関する項目からなる因子が、有意な影響のある説明変数であることが明らかとなった。

$R^2=.366$	妥当性項目			VIF
	非標準化係数	標準化係数 (β)	r	
セルフコントロール	-0.97	-0.27	-.471	1.47
親の監督	0.62	0.12	.333	1.22
公的交流	0.25	0.09	.249	1.21
私的交流	0.13	0.03	.305	1.48
対人間で遵守すべき行動	1.28	0.28	.508	1.76
対人間での望ましい行動	0.13	0.03	.351	1.47
個人として遵守すべき行動	0.29	0.04	.311	1.31



## 1.2. 独自児童調査の調査用紙 B に関する分析

次に、独自に行われた児童調査の調査用紙 B（教科に関する関心・意欲・態度、学習方略、学習動機づけ、社会に対する興味、将来に関する意識）についても、同様の手続きによって分析を行った。まず、記述統計量を算出した結果は以下の通りである。

No	項目	平均値	標準 偏差
1	国語の授業の内容がよく分かる	1.76	0.68
2	これから先、国語が得意である、得意になるという自信がありますか？	2.37	0.86
3	国語ができるようになりたい	1.42	0.69
4	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている	1.99	0.81
5	これから先、国語の授業内容を理解できるという自信がありますか？	2.01	0.76
6	国語の勉強はおもしろい	2.30	0.92
7	これから先、国語でよい成績をとる自信がありますか？	2.39	0.82
8	国語は自分から進んで勉強する価値がある	1.69	0.79
9	国語ができるとかっこよくみられると思う	2.51	1.01
10	国語を勉強するとき、教科書は暗記するくらい繰り返し読む	2.85	0.82
11	国語の勉強を自分のよく知っていることや興味のあることと関係づけて勉強する	2.37	0.87
12	国語を勉強するとき、意味の分からない言葉がでてきても、まず暗記をする	2.56	0.93
13	国語の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	2.07	0.96
14	国語のテストで高得点をとるために勉強する	2.03	0.88
15	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる	1.99	0.85
16	国語の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	2.11	0.95
17	国語のテストで、解答を文章で書く問題に対してどのように解答していますか	1.18	0.40
18	算数の勉強は好きだ	2.05	0.99
19	算数の授業の内容はよく分かる	1.75	0.80
20	算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたい	1.87	0.97
21	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を	1.80	0.85

考える

22	これから先、算数が得意である、得意になるという自信がありますか？	2.12	0.94
23	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている	1.87	0.86
24	算数の勉強はおもしろい	1.99	1.02
25	これから先、算数でよい成績をとる自信がありますか？	2.22	0.95
26	算数は自分から進んで勉強する価値がある	1.53	0.78
27	これから先、算数の授業内容を理解できるという自信がありますか？	1.98	0.86
28	算数ができるとかっこよくみられると思う	2.19	1.10
29	算数を勉強するとき、何度も同じ問題を解く	2.35	0.94
30	算数の勉強を自分のよく知っていることや興味のあることと関係づけて勉強する	2.23	0.92
31	算数を勉強するとき、分からない問題は何度も繰り返して解けるようにする	1.96	0.92
32	算数の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	2.02	0.97
33	算数のテストで高得点をとるために勉強する	1.79	0.90
34	算数の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	1.96	0.98
35	算数のテストで、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、どのように解答していますか	1.19	0.40
36	理科の勉強は好きだ	1.91	0.95
37	理科の授業の内容はよくわかる	1.76	0.81
38	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている	1.67	0.79
39	理科の授業で、観察の実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている	1.99	0.89
40	理科のテストの問題で、解答を文章などで書く問題について、どのように解答していますか	1.19	0.41
41	勉強をすべるとなりたい自分に近づける	1.68	0.81
42	この先さらに勉強していくために、今、勉強することは重要だ	1.32	0.62
43	勉強は面白い	2.35	0.96
44	勉強のことを考えると楽しい気分になる	2.91	0.90
45	勉強をすることは、将来、仕事の役に立つと思う	1.23	0.55
46	勉強には興味がわく	2.47	0.92

47	勉強ができると、人よりも優れていると感じる	2.18	1.05
48	勉強ができないのはかわいと思う	1.98	1.05
49	勉強のことを考えると、わくわくすることがある	2.73	0.98
50	勉強をすると自分がもっと成長できると思う	1.50	0.75
51	勉強することは将来のためになる	1.24	0.56
52	勉強ができて、自慢にならないと思う	2.27	1.10
53	勉強ができるとかっこいいと思う	2.10	1.08
54	勉強の内容は生活に活かせると思う	1.38	0.67
55	勉強することは、自分にとって重要だ	1.32	0.61
56	勉強は、自分で進んでする価値がある	1.49	0.75
57	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う	1.56	0.75
58	これから学校で学ぶ内容は楽しそうだ	2.20	0.93
59	これから学校で学ぶ内容は面白そうだ	2.18	0.94
60	これから学校で学ぶ内容は興味をもてそうだ	2.23	0.92
61	学校の先生は、わたしたちが勉強することを一番に考えてくれそうだ	1.77	0.82
62	学校の先生は、わたしたちの立場にたって教えてくれそうだ	1.76	0.85
63	学校の先生は、わたしたちがわかるようになることを応援してくれそうだ	1.70	0.83
64	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます）をしますか	3.81	1.44
65	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます）	3.63	1.11
66	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます）	3.97	1.25
67	学校の宿題をしている	1.36	0.72
68	地域や社会で起こっている問題について知りたい	1.81	0.88
69	ニュースを見たり聞いたりして、不思議に思うことがある	1.53	0.82
70	見たり聞いたりしたニュースについて、親や先生に質問することがある	1.97	1.03
71	少々反対されても、自分が正しいと思う考えを主張できる	2.18	0.94
72	少し難しそうなことにチャレンジしたことがある	1.91	0.94

73	何にでも積極的に参加する	2.31	0.91
74	何かするとき，“ほかに方法はないかな”と考えるのが好きだ	2.24	0.97
75	失敗しても，めげずにがんばったことがある	1.76	0.86
76	自分の周りの出来事や世の中にとっても興味がある	1.86	0.89
77	将来の自分を想像するとわくわくする	1.92	0.99
78	将来，何をしたいか具体的に考えている	1.92	1.01
79	なりたい自分を目指して，努力している	1.81	0.90
80	今自分で決めたことが将来の自分につながると考えること	1.86	0.80
81	自分自身で物事を決めていくこと	1.94	0.79
82	将来に向けて気持ちの準備をすること	1.95	0.84
83	前向きでいること	1.84	0.88
84	自分がなりたい職業に興味を持つこと	1.57	0.79
85	物事を自分の力で進めていくこと	1.95	0.80
86	自分の将来がどうなるかを考えること	1.77	0.84
87	自分がこの先どうなりたいかを自分で選ぶこと	1.58	0.76

次に、各項目を説明変数、学力代理変数を従属変数とした相関係数と回帰分析を行った。

$R^2=.746$		非標準化 係数	標準化 係数 (β)	$r$	$VIF$
2	これから先，国語が得意である，得意になるとい う自信がありますか？	-0.13	-0.01	.448	2.54
3	国語ができるようになりたい	0.58	0.04	.439	1.76
5	これから先，国語の授業内容を理解できるという 自信がありますか？	1.54	0.13	.539	2.14
6	国語の勉強はおもしろい	0.15	0.01	.461	2.18
7	これから先，国語でよい成績をとる自信がありま すか？	0.79	0.07	.506	2.48
8	国語は自分から進んで勉強する価値がある	0.20	0.02	.484	1.99
9	国語ができるとかっこよくみられると思う	0.39	0.04	.384	2.54
10	国語を勉強するとき，教科書は暗記するくらい繰 り返し読む	0.40	0.04	.403	1.57
11	国語の勉強を自分のよく知っていることや興味 のあることと関係づけて勉強する	0.34	0.03	.530	2.04

12	国語を勉強するとき、意味の分からない言葉がでてきても、まず暗記をする	-0.29	-0.03	.212	1.30
13	国語の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	0.21	0.02	.404	1.70
14	国語のテストで高得点をとるために勉強する	0.28	0.03	.445	2.04
16	国語の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	-0.34	-0.03	.254	2.12
22	これから先、算数が得意である、得意になるという自信がありますか？	-0.33	-0.03	.527	3.61
24	算数の勉強はおもしろい	1.18	0.13	.567	2.81
25	これから先、算数でよい成績をとる自信がありますか？	1.23	0.13	.567	4.07
26	算数は自分から進んで勉強する価値がある	0.38	0.03	.527	2.22
27	これから先、算数の授業内容を理解できるという自信がありますか？	0.99	0.09	.584	2.97
28	算数ができるとかっこよくみられると思う	-0.04	0.00	.381	3.11
29	算数を勉強するとき、何度も同じ問題を解く	-0.39	-0.04	.408	1.66
30	算数の勉強を自分のよく知っていることや興味のあることと関係づけて勉強する	0.21	0.02	.541	2.10
31	算数を勉強するとき、分からない問題は何度も繰り返して解けるようにする	1.55	0.15	.608	1.95
32	算数の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	0.14	0.01	.507	2.08
33	算数のテストで高得点をとるために勉強する	-0.03	0.00	.430	2.37
34	算数の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	0.24	0.03	.282	2.22
41	勉強をすべるとなりたい自分に近づける	0.02	0.00	.472	2.11
42	この先さらに勉強していくために、今、勉強することは重要だ	0.82	0.05	.450	2.42
43	勉強は面白い	0.70	0.07	.596	3.41
44	勉強のことを考えると楽しい気分になる	0.11	0.01	.504	3.04
45	勉強をすることは、将来、仕事の役に立つと思う	-0.48	-0.03	.323	2.13
46	勉強には興味がわく	0.41	0.04	.566	3.03
47	勉強ができると、人よりも優れていると感じる	-0.08	-0.01	.311	1.70
48	勉強ができないのはかっこわるいと思う	-0.02	0.00	.206	1.53
49	勉強のことを考えると、わくわくすることがある	0.00	0.00	.474	2.39

50	勉強をすると自分をもっと成長できると思う	-0.08	-0.01	.443	2.30
51	勉強することは将来のためになる	-0.33	-0.02	.356	2.62
52	勉強ができて、自慢にならないと思う	-0.15	-0.02	-.001	1.23
53	勉強ができるとかっこいいと思う	0.00	0.00	.302	2.91
54	勉強の内容は生活に活かせると思う	0.36	0.03	.424	1.98
55	勉強することは、自分にとって重要だ	0.35	0.02	.434	2.40
56	勉強は、自分で進んでする価値がある	0.32	0.03	.499	2.45
58	これから学校で学ぶ内容は楽しそうだ	-0.32	-0.03	.550	5.13
59	これから学校で学ぶ内容は面白そうだ	0.47	0.05	.553	5.52
60	これから学校で学ぶ内容は興味をもてそうだ	-0.21	-0.02	.562	3.79
61	学校の先生は、わたしたちが勉強することを一番に考えてくれそうだ	0.58	0.05	.394	2.90
62	学校の先生は、わたしたちの立場にたって教えてくれそうだ	0.10	0.01	.417	3.42
63	学校の先生は、わたしたちがわかるようになることを応援してくれそうだ	0.56	0.05	.438	3.17
68	地域や社会で起こっている問題について知りたい	0.51	0.05	.484	2.25
69	ニュースを見たり聞いたりして、不思議に思うことがある	0.38	0.03	.447	1.88
70	見たり聞いたりしたニュースについて、親や先生に質問することがある	0.42	0.05	.391	1.54
71	少々反対されても、自分が正しいと思う考えを主張できる	0.37	0.04	.393	1.64
72	少し難しそうなことにチャレンジしたことがある	0.72	0.07	.512	1.83
73	何にでも積極的に参加する	0.37	0.04	.475	1.75
74	何かするとき、“ほかに方法はないかな”と考えるのが好きだ	-0.06	-0.01	.523	2.04
75	失敗しても、めげずにがんばったことがある	0.18	0.02	.468	1.86
76	自分の周りの出来事や世の中にとっても興味がある	0.14	0.01	.505	2.39
77	将来の自分を想像するとわくわくする	-0.60	-0.06	.306	2.10
78	将来、何をしたいか具体的に考えている	-0.22	-0.02	.242	2.40

79	なりたい自分を目指して、努力している	0.17	0.02	.386	2.45
80	今自分で決めたことが将来の自分につながると考えること	-0.13	-0.01	.438	2.27
81	自分自身で物事を決めていくこと	0.04	0.00	.392	1.95
82	将来に向けて気持ちの準備をすること	-0.09	-0.01	.371	2.16
83	前向きでいること	-0.01	0.00	.360	1.63
84	自分がなりたい職業に興味を持つこと	0.29	0.03	.317	2.31
85	物事を自分の力で進めていくこと	0.32	0.03	.448	2.14
86	自分の将来がどうなるかを考えること	-0.07	-0.01	.338	2.31
87	自分がこの先どうなりたいかを自分で選ぶこと	-0.30	-0.02	.309	1.93

学力代理指標を説明変数とした重回帰分析の説明力は、学力テストの正解率よりも高くなる傾向があるが、これは代替指標が質問紙であるため、同じ質問紙項目と類似（整合した）の反応を生じやすいためであると考えられる。

次に、最尤法、プロマックス回転による因子分析を行った結果、以下の12因子が見出された。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
I	<学習に対する有用感—将来, 自己>							$\alpha=.912$				
51	<b>.889</b>	.005	-.029	-.080	.006	-.003	.010	-.042	-.001	-.013	.012	-.087
55	<b>.836</b>	-.017	.005	-.033	.027	-.043	-.026	.006	.033	-.022	.028	-.084
42	<b>.808</b>	-.011	-.058	.066	-.046	-.009	.013	-.013	.069	-.030	-.046	-.015
45	<b>.798</b>	.012	-.037	.022	.011	.011	-.004	-.109	-.066	.027	-.018	-.050
56	<b>.704</b>	-.020	-.016	.043	-.076	.002	.003	-.006	.075	-.023	-.003	.109
50	<b>.691</b>	.004	.017	.063	.058	.032	.052	.038	-.018	-.007	-.048	-.061
54	<b>.641</b>	.061	-.006	-.041	.048	.005	-.016	-.001	-.081	.063	.080	-.008
26	<b>.452</b>	-.068	<b>.331</b>	-.138	-.044	-.060	.011	.039	.012	-.011	-.061	<b>.300</b>
41	<b>.425</b>	.147	.016	.182	-.001	-.061	<b>.056</b>	.064	-.016	.002	.003	.037
8	<b>.377</b>	-.044	-.018	-.045	-.015	.137	-.082	.011	-.002	.049	-.009	<b>.369</b>
3	<b>.323</b>	-.026	-.074	.006	.012	.105	.015	.099	-.076	.082	.043	.239
II	<キャリア形成の資質・能力—関心>							$\alpha=.897$				
78	-.081	<b>.927</b>	.049	-.005	.022	-.017	-.010	-.030	-.181	-.021	-.037	.050
84	.076	<b>.785</b>	.009	-.114	.000	.005	.009	-.066	.019	-.058	.075	-.025
79	-.011	<b>.742</b>	.004	.074	.031	.004	-.085	<b>.057</b>	-.049	-.018	-.045	.099
86	.009	<b>.695</b>	-.034	-.030	-.039	.012	-.025	-.015	.120	.032	-.010	.039

77	-.042	<b>.669</b>	-.001	.063	.160	-.011	.118	-.025	-.131	.034	.039	-.026
87	.105	<b>.541</b>	-.002	-.100	-.055	.011	.016	-.023	.260	-.026	.011	-.056
80	.102	<b>.450</b>	.012	.046	.060	.049	-.060	.022	.229	.006	.033	-.077
82	-.043	<b>.442</b>	-.047	.000	-.098	.015	-.029	.069	<b>.400</b>	.046	-.037	.045
III	<算数に対する有能感>							$\alpha=.904$				
25	-.072	.018	<b>.954</b>	.005	-.027	.153	.018	.022	.025	-.013	.008	-.166
22	-.022	.027	<b>.928</b>	.026	-.047	.070	-.026	-.039	-.040	.052	-.027	-.051
27	.002	-.011	<b>.846</b>	-.032	.003	.146	-.023	-.021	.049	.035	-.014	-.095
24	-.016	-.019	<b>.699</b>	.171	-.061	-.130	-.019	-.053	-.123	.057	.069	.164
IV	<学習に対する有用感—興味>							$\alpha=.894$				
44	-.098	-.010	.022	<b>.996</b>	-.009	.002	-.009	.015	-.013	.017	-.069	-.049
46	.097	-.079	.008	<b>.805</b>	.031	-.011	-.036	-.015	.071	-.057	.035	-.037
49	-.013	-.004	.020	<b>.773</b>	.083	-.031	-.028	-.015	-.025	-.023	.041	-.037
43	.121	-.005	.088	<b>.773</b>	-.040	.038	-.018	-.059	-.013	-.014	.038	-.022
V	<社会に対する興味>							$\alpha=.810$				
68	.010	.011	-.019	.036	<b>.747</b>	.052	-.008	.079	-.130	.016	-.001	.051
76	-.048	.035	-.038	.043	<b>.727</b>	.012	-.012	.064	.053	-.025	.008	.039
69	.137	.034	-.033	.010	<b>.637</b>	-.043	-.077	.052	-.051	.059	-.072	.059
70	-.004	.021	-.069	-.003	<b>.472</b>	.000	.070	-.063	.118	.063	-.050	.068
VI	<国語に対する有能感>							$\alpha=.841$				
2	.005	.038	.001	.008	.011	<b>.783</b>	.013	-.029	-.039	-.037	-.003	.130
7	-.021	.001	.157	.008	.001	<b>.771</b>	.054	.033	.029	-.053	-.018	-.002
5	.026	-.022	.145	-.050	.029	<b>.637</b>	-.030	-.017	.076	.033	-.022	.073
VII	<学習に対する有用感—他者比較>							$\alpha=.801$				
53	.054	.004	-.022	.006	.016	-.005	<b>.858</b>	-.022	.013	.019	.012	-.064
28	-.054	.032	.051	-.005	-.054	-.037	<b>.811</b>	-.063	.003	.004	-.034	.231
9	-.063	.015	-.077	.033	-.103	.056	<b>.655</b>	-.031	-.015	.006	-.051	<b>.393</b>
47	.126	-.056	.032	.119	.092	.039	<b>.475</b>	.089	.056	.019	.001	-.206
52	.043	.057	.064	.152	.003	-.007	<b>-.429</b>	-.061	-.068	.013	-.068	.126
48	.180	.025	.044	-.014	.074	.028	<b>.391</b>	.192	-.075	-.043	.051	-.200
VIII	<学習動機付けの調整—外発的>							$\alpha=.819$				
34	-.038	.019	-.009	-.007	.046	-.019	.059	<b>.829</b>	-.084	-.016	-.009	-.034
16	-.045	-.072	-.103	-.020	.060	-.022	.040	<b>.806</b>	.018	.021	.064	-.047

33	.050	.017	.233	-.066	.005	-.076	.022	<b>.609</b>	.018	-.027	-.025	.094
14	.002	-.029	-.065	.000	-.028	.157	-.070	<b>.556</b>	.070	-.009	.013	.226
IX <キャリア形成の資質・能力—コントロール感>									α=.847			
81	.075	.023	-.075	.003	-.074	-.019	-.001	-.002	<b>.819</b>	-.034	.033	-.121
85	-.079	.113	-.001	.052	-.018	.037	.009	.061	<b>.757</b>	-.019	-.021	-.133
83	-.034	.152	-.005	-.017	-.125	-.010	.025	.016	<b>.548</b>	.113	.085	-.091
71	-.041	-.069	.091	-.105	<b>.304</b>	.060	.081	-.127	<b>.464</b>	-.057	-.034	.018
75	.102	.077	-.009	.019	.129	-.041	-.008	-.027	<b>.435</b>	.037	-.070	.086
72	-.015	-.064	.090	-.001	.260	-.006	.012	-.039	<b>.429</b>	-.059	.042	.075
73	-.043	-.038	-.041	.021	.143	.015	.037	.004	<b>.421</b>	.086	.047	.112
74	-.058	-.011	.054	.110	.271	-.060	.003	-.087	<b>.317</b>	-.034	.052	.218
X <学校への期待—教師>									α=.902			
62	-.020	.008	.066	.025	.015	-.001	-.004	.041	-.017	<b>.926</b>	-.039	-.075
63	.040	-.009	.043	-.027	.070	-.077	-.001	-.066	.021	<b>.844</b>	-.005	.016
61	.023	-.030	-.006	-.056	-.017	.024	.010	.017	.006	<b>.842</b>	.038	-.005
XI <学校への期待—学習内容>									α=.932			
59	-.025	.004	.002	-.005	-.051	-.012	.044	.004	.040	-.037	<b>.942</b>	.057
58	.011	.012	.033	.076	-.013	-.005	-.003	.020	.017	.026	<b>.838</b>	-.029
60	.036	.017	.031	.105	.005	.013	-.008	.013	.022	.033	<b>.683</b>	.029
XII <学習動機付けの調整—内発的>									α=.829			
13	.031	.012	-.049	-.160	.190	.127	-.012	-.069	-.181	-.048	.039	<b>.671</b>
32	-.025	-.012	<b>.333</b>	-.114	.131	-.113	.017	-.019	-.111	-.043	.130	<b>.520</b>
11	-.026	-.030	-.036	.047	.098	.162	-.066	-.005	.093	.006	.004	<b>.515</b>
30	-.056	.022	.291	.033	.039	-.109	-.036	-.001	.041	-.051	.033	<b>.513</b>
10	-.108	.048	-.066	.144	-.078	.094	.006	.099	.015	.012	-.032	<b>.485</b>
6	-.002	.000	-.208	.180	-.036	<b>.371</b>	-.020	-.036	-.116	.080	.125	<b>.416</b>
31	.081	.053	.241	.038	-.025	-.064	-.040	.103	.100	-.048	-.063	<b>.395</b>
29	-.033	-.005	.142	.066	-.033	-.111	.009	.204	.019	.005	.001	<b>.383</b>
12	-.048	.031	-.088	.048	-.067	.005	-.013	.231	.046	.049	-.090	<b>.313</b>
因子間相関												
1	.483	.375	.543	.537	.298	.448	.535	.508	.531	.490	.595	
2		.301	.457	.467	.344	.316	.378	.628	.339	.409	.447	
3			.473	.381	.218	.240	.353	.493	.233	.440	.551	

4	.495	.411	.395	.417	.546	.413	.694	.707
5		.381	.297	.319	.567	.367	.522	.565
6			.168	.182	.493	.279	.358	.432
7				.395	.270	.371	.269	.388
8					.386	.338	.341	.507
9						.371	.483	.623
10							.498	.491
11								.648

まず、学習に対する有用感—将来、自己に該当する第 1 因子、キャリア形成の資質・能力—関心に該当する第 2 因子、算数に対する有能感に該当する第 3 因子、学習に対する有用感—興味に該当する第 4 因子、社会に対する興味に該当する第 5 因子、国語に対する有能感に該当する第 6 因子、学習に対する有用感—他者比較に該当する第 7 因子、学習動機付けの調整—外発的に該当する第 8 因子、キャリア形成の資質・能力—コントロール感に該当する第 9 因子、学校への期待—教師に該当する第 10 因子、学校への期待—学習内容に該当する第 11 因子、学習動機付けの調整—内発的に該当する第 12 因子が見いだされた。さらに、新規提案項目と妥当性項目をそれぞれ分けて因子分析を行った結果、新規提案項目には 1 因子性が確認され、妥当性項目には先行研究を踏襲する概念構造が再現された。

次に、尺度ごとに相関分析と因子分析を行い、新規項目と妥当性検討項目のみを対象とした因子構造の検討を行った。

国語に対する有用感		$\alpha=.648$	8	9
6	国語の勉強はおもしろい		.440	.345
8	国語は自分から進んで勉強する価値がある			.356

算数に対する有用感		$\alpha=.642$	26	28
24	算数の勉強はおもしろい		.477	.287
26	算数は自分から進んで勉強する価値がある			.358

国語に対する有能感		$\alpha=.841$	5	7
-----------	--	---------------	---	---

2	これから先、国語が得意である、得意になるという自信がありますか？		.618	.682
5	これから先、国語の授業内容を理解できるという自信がありますか？			.613
<hr/>				
算数に対する有能感				
		$\alpha=.902$	25	27
22	これから先、算数が得意である、得意になるという自信がありますか？		.798	.711
25	これから先、算数でよい成績をとる自信がありますか？			.752
<hr/>				
		I	II	
<学習動機づけの調整—外的>		$\alpha=.819$		
34	算数の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	<b>.871</b>	-.122	
16	国語の勉強をしないといい点がとれないと思って勉強する	<b>.805</b>	-.099	
33	算数のテストで高得点をとるために勉強する	<b>.641</b>	.170	
14	国語のテストで高得点をとるために勉強する	<b>.516</b>	.241	
<学習動機づけの調整方略—内的>		$\alpha=.767$		
30	算数の勉強を自分のよく知っていることや興味のあることと関係づけて勉強する	.016	<b>.715</b>	
32	算数の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	.012	<b>.691</b>	
11	国語の勉強を自分のよく知っていることや興味のあることと関係づけて勉強する	.001	<b>.651</b>	
13	国語の勉強内容で面白そうな部分を探してみる	-.065	<b>.639</b>	
			因子間相関	.494
<hr/>				
学習方略—暗記，繰り返し学習				
		$\alpha=.675$	12	29
10	国語を勉強するとき、教科書は暗記するくらい繰り返し読む	.318	.372	.361
12	国語を勉強するとき、意味の分からない言葉がでてきても、まず暗記をする		.263	.214
29	算数を勉強するとき、何度も同じ問題を解く			.518